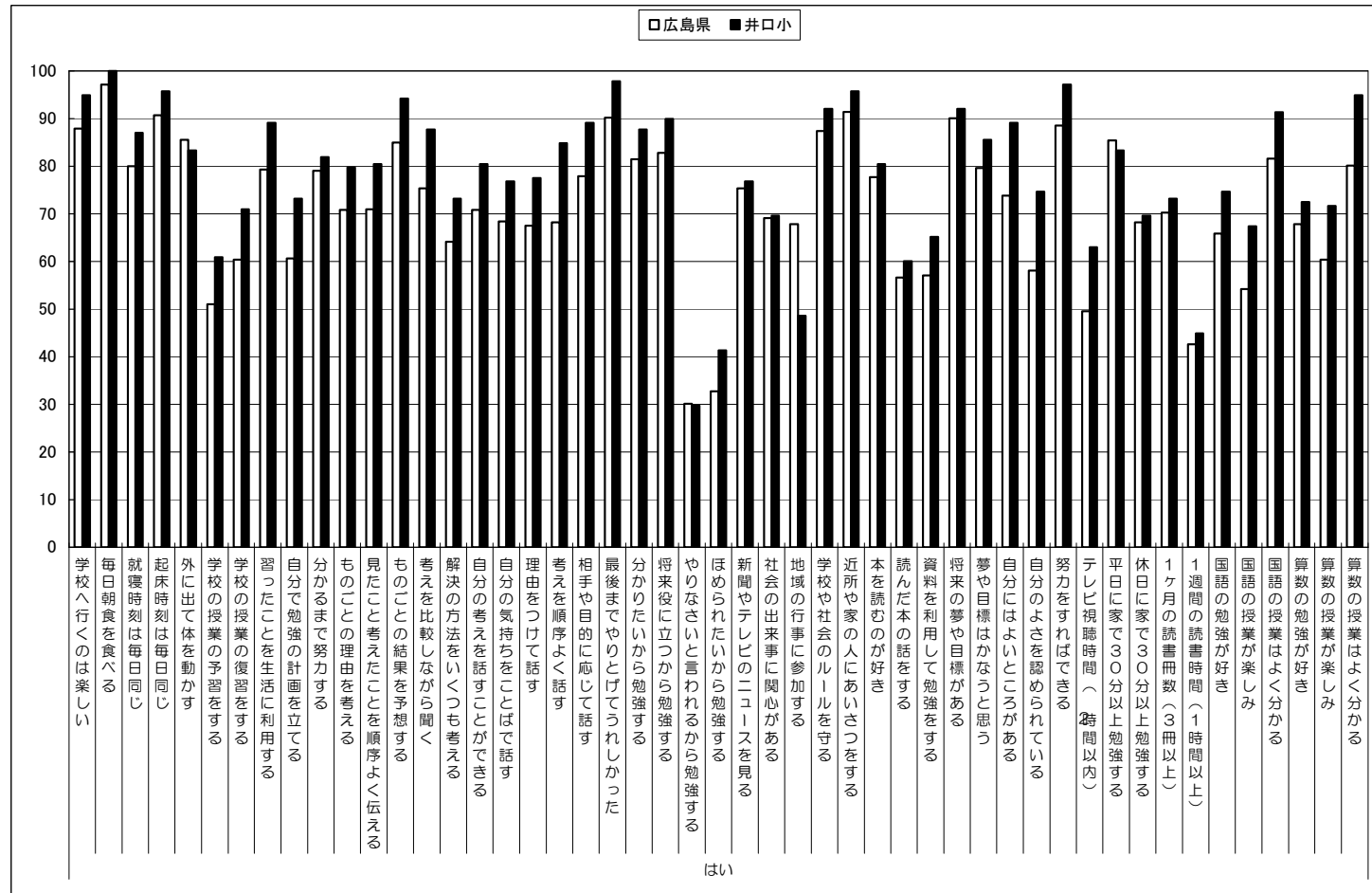


③生活と学習に関する意識・実態調査



保護者の皆様をお願いしたいこと

- 学力は、基本的な生活習慣や良好な人間関係、自己肯定感に支えられた学習意欲と深い相関関係があると言われていいます。今回の調査では、朝食や起床時刻といった生活習慣は、身につけていると考えられます。しかし、学校の様子からは、学習用具の準備・提出物など、まだ身につけていない児童も見られます。これからも、学習用具の準備や提出物について子どもさんと話をさせていただけたらと思います。また、子どもさんとたくさん会話をされて、家の人に自分のことをわかってもらっているという気持ちを持ち続けられるようにお願いします。
- 基本的な生活習慣の中で、改善していただければと思えることがあります。
 - ① 読書時間 ② 家庭での学習習慣 ③生活習慣の定着 です。
 毎日少しずつでも読書をする時間をもつのが理想です。また、家庭での学習習慣として毎日机について一定時間学習するのがよいと言われています。五年生ならば10分間×5で50分以上は机についてほしいものです。いずれにしてもご家庭でしっかり話し合っ、ルールを決めるのがいいのではないかと思います。また、「ノーテレビデー(視聴時間を減らす)」や「早寝早起き・元気なあいさつ・朝ご飯」の生活習慣定着に向けての取り組みも引き続きよろしく願いいたします。
 保護者の皆様のご協力のもとに、学校といたしましては指導方法の工夫や改善を加えながら努力を続けていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

生活に関する調査から

- ・「毎日朝食をとる」ことや「起床時刻・就寝時刻」を一定の時刻にすることなどの生活習慣は、ほぼ確立されていると言えます。また、「社会のルールを守る」ことや「あいさつをする」ことなどの規範意識についても身につけていると言えます。一方で、「地域行事へ参加する」と答えた児童の割合が48.6%と低い実態があります。井口小学校区では多くの地域行事があるので、ご家庭で積極的に参加されるのもよいと思います。
- ・「本を読むことが好き」と答えた児童は80.4%と多いですが、「1週間で1時間以上本を読む」と答えた児童は44.9%、「読んだ本の話をする」と答えた児童は60.1%と低い実態があります。学校では、図書館の本の紹介をするなど、読書への関心を高めていきたいと思ひます。
- ・「将来の夢や目標がある」や「努力すればできる」という自己実現力・自己効力感ほとんどの児童がもっています。このような児童のやる気を生かして児童がより達成感をもてるような指導を学校でも行っていきたいと思ひます。

学習に関する調査から

- ・ 国語科や算数科の授業が「楽しみ」「よく分かる」という割合が、県平均を10ポイント以上上回っており、平素の授業を肯定的にとらえている児童が多いことがうかがえます。また授業の予習や復習などの学習習慣や「分かりたいから勉強する」「将来役に立つから勉強する」といった学習動機も県平均を上回っており、総じて本校児童は学習に対して前向きであると言えます。しかし、その一方で「家で30分以上勉強する」という割合が県平均を下回っており、前向きな意識のわりには家庭学習の習慣が定着しているとは言えない実態がうかがえます。このような意識と行動のギャップが今回の基礎学力の調査結果にも表れているのではないかと考えられます。
 今後は、より児童の学習意欲を高め、児童個々が課題を自ら設定し、主体的に問題解決に取り組めるような授業の創造を進めていきたいと思ひます。